

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)		-	-	-
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・天候に恵まれて正月の入出はここ10年で一番賑わったが、最寄りの百貨店が去年より休みを長く取ったことや曜日の並びも影響し、商店街全体の売上は厳しかった。消費者は福袋やバーゲンセールには関心が高いものの、まだまだ財布のひもは固い印象を受ける。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・初売りや福袋の効果で、学生を中心にかなりの人出で賑わった。週末には特に、インバウンド観光客もかなり入ってきており、年明け以降は賑わいが増している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・10月と比べて売上の前年比トレンドが4%改善した。厳しい寒さの影響で、衣料品や防寒雑貨のセール売上が健闘した。10月は厳しかった大型物産展も1月は好調で、売上改善に貢献した。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が前年比プラス5ポイントだった。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商材を中心に販売量が増加し、それに比例して売上も上昇している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・受注量は前年比148%、登録ベース128%と大きく上回っている。2～3月の最需要期を迎え、早くも動きが出ている。愛媛県下全体でも順調に伸びている。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・引き続き高額商材の引き合いがあるほか、解約件数が減少しており、良くなってきている。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・料飲店の廃業に加えて、高齢化で酒類の消費量が減少していることから、販売量は減る一方である。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・競合店出店や他業態での食品販売が定着し、消費者が買い回りするようになっている。来客数が前年を下回る状況が続いている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・売上は前年を上回っているものの、景気とは結びつかない。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・年明け後も、来客数の横ばいが続いている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・寒さが強くなってきた為、動きが鈍かったコート等の重衣料が伸びているが、前年並みの売上に留まり、売上ペースはここ3か月間変動がない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1月の新車受注台数は前年並みで推移している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3か月前と変わらない動きをしている。景気が上向いているようには思えない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	単価の動き	・値下げしないと売れないが、値下げ分を取り戻すほど客数がついてこない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・お陰様で、道後のイベント等は成功している。1月は新年会などで客の動きが良くなっており、前年に比べて売上はかなり伸びている。しかし、景気が良くなっているのではなく、まだまだ見通しはあまり良くない。
		旅行代理店（営業部長）	来客数の動き	・法人の団体旅行需要や教育旅行需要は横ばい状態で、来店者数からみても四国4支店とも苦戦状態が続いている。今後の動向は非常に不安定である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗車の単価に大きな変動はない。乗客から新年会はないという声が多く、夜の街も状況は良くない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・人手不足が深刻になっている。
	通信会社（支店長）	来客数の動き	・新年を迎えたが、大きな変化はみられない。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・閑散期であることを踏まえて予約状況を比較した結果、あまり変化はない。	
	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築費が高止まりしている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注高、イベント来場者数ともに変わっていない。	

	商店街（代表者）	競争相手の様子	・地方経済の衰退、人口減少にも歯止めがかからない状況下で、春には大型ショッピングモールがオープンする。自治体はそれを承認した一方、市中心部の目玉になる音楽芸術ホールを含む活性化事業を白紙撤回した。中心市街地は最大の試練を迎えている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・売上は、3か月前と比べると良いが、前年比では少し悪くなっている。1月中旬頃から気温が低下し、客の動きが一段と鈍くなっており、サービス業としては厳しい状況が続いている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・正月は暖かかった割に人出が悪く、その後寒波が来てもっと悪くなった。月末になってやっと普段通りの客足が戻ったけれど、多いとは言えない。
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	来客数の動き	・来客数が減り、売上も前年を下回っている。
	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売量が前月比10%減少した。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・1月の売上は前月比2%減、3か月前比26%増、前年比2%減となった。今月開催した正月レースは前年比10%減少し、一日平均売上も10%減少した。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来店周期が延びている。
×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・全体的に商品が売れない。特に、土日の売上減少が著しい。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・こんなに客が少なく、販売単価の上がらない12～1月商戦は初めてだ。とにかく街中に人が少ない。地方の景気はかなり悪い。
×	スナック（経営者）	競争相手の様子	・昨年8月以降、売上は前年割れが続いている。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・例年1～2月はお遍路の仕事がほとんどなく、秋から比べると半分近くまで売上が落ちている。街も静かなもので、それほど乗車してはもらえない。
企業動向関連	*	*	*
(四国)	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、年末から年度末にかけて公共事業の手持ち仕事量が多く、売上も良くなる。しかし今年は、大手企業との競争激化で受注量が増えていない。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は確実に増えてきており良くなっていると思うが、やはり不安が拭えない。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・都市部は順調であるが、地方の小売店は相変わらず厳しい状況が続いており、廃業する店舗も増えている。
	木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・消費税増税の再延期や低金利を受け、2016年の住宅業界は順調な1年であった。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新しいバンブーバイオマス発電事業が国から許認可されて大変忙しいが、今の実体の景気は以前と変わらない。営業努力で現状維持できてはいるが、本当は景気が悪いとみている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年が明けても状況は変わらない。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・業種によりバラつきはあるものの、取引先企業の直近財務資料から業績に大きな変化はみられない。
	公認会計士	取引先の様子	・前年とあまり変わらないという顧客がほとんどである。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売市場は昨年秋の品薄を受けて12月以降荷動きが減少し、年が明けても低調に推移している。卸売価格は一部品目を除き例年を下回っており、量販店の売り出しも利益優先の売価設定が多い状況で、需給調整、特に増量入荷時の価格の弾力性が乏しい環境にある。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年どおり1月は年末に比べてかなり落ち込んでいるが、対前年比ではやや良くなっている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内向けは、建設用クレーンの需要が減少傾向であるが、復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策・民間建設投資等により概ね堅調に推移している。海外向けは、欧州が増加しているものの、北米・中東は原油価格の影響を受け減少、東南アジアも経済減速から減少しており、全体として需要は減少している。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・最終消費者の購入が減少しているのではなく、グローバルでの流通在庫の増減に起因するもので、販売高は7～8%程度減少している。

		輸送業（支店長）	それ以外	・閑散期に入り、親会社も自社戦力を優先的に使用し、社外への支払い圧縮を推進している。受注量の激減とともに、コスト増（燃油費の単価アップ）も決定的となっている。
		輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・官民より運送業務の委託に関する競争入札等の引き合いがあるも、コンプライアンスを度外視した低価格重視基調の案件が多く、また受託業者側に落ち度が無いイレギュラー発生時における損失補償についての条件を認めない等、受託業者に不利益な契約条件の案件もあり、すべてが入札に参加できるわけではない。
	x	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の造船、産業用機械ともに受注案件が減少している。
雇用 関連		-	-	-
(四国)		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・コールセンターの増設に関する派遣受注が増えてきている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・12月の有効求人倍率は1.52倍で、5月以降連続して上昇している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・例年であれば今頃は次年度に向けた動きがみられるが、今年は今春卒業の学生を対象にした求人が多くみられる。
		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・社会情勢の変化に伴い、各企業が来年度に向けて新規事業や現状の改善に特に注力している印象を受ける。そのための人材確保、人材強化を進めているが、求める人材の確保に苦戦しており、いまだ改善の見込みはない。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人数は高止まりしている。どの企業も人手不足のため求人を出しているが、予定している人員の確保はできていない。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・常用雇用は増加しているが、雇用条件ではパートと同じ時給での正社員を募集するなど、改善の動きは弱い。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・65歳定年制を導入していない企業が多く、65歳定年制を導入している企業でも、60歳で一旦定年となり、その後は低賃金で再雇用されている場合が多い。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求職者の派遣業への登録が減っている。仕事の依頼とスタッフの就労がつながりにくい。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・売上に対する労働分配率が上がっている。
		x	-	-